

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日: 令和4年9月1日 発行人: 市川 正 印刷: 山陽印刷株式会社

9月号 2022

Vol.311



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

令和4年度シルバースター総代会を開催	1	第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	5
研修会「食品ロスを減らすために旅館・ホテルにできること」	2	第100回記念 全旅連全国大会 in 東京開催概要	6
R3・4年度「第4回JKK定例会議」開催	3	全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連委員会開催	4	全旅連協定商社会名簿	8

令和4年度シルバースター総代会を開催 研修会は「食品ロス」で旅館・ホテルにできること

事業計画にSDGsに対応した食品ロス対策
マニュアル冊子作成し年度内に送付



「ネットワークを生かして集客に努めたい」と渡邊部会長

全旅連シルバースター部会（渡邊幾雄部会長）は7月13日、東京・千代田区の都道府県会館で令和4年度総代会を開き、「SDGsに対応した旅館ホテルの食品ロス対策」を柱とした令和4年度事業計画など全議案を承認した。また、議事のあとには食品ロスについての研修会（講演）も実施した。

冒頭、多田会長は「全国大会で講演することになっていた安倍元首相の訃報に接し、驚きと悲しみを深くしている。心から哀悼の意を表したいと思う」と述べたあと、部会の運営については、「これからも部会員の向上にしっかりと役立つ活動を進めてほしい」と期待を示した。また、来賓の厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課の小野陽介課長補佐は厚労省が示す数々の支援策について述べながら「シルバースター部会が今後一層発展することを願っている」と述べた。

渡邊部会長は、総代会に出席した大木初代部会長はじめ山本、多田、中村の各歴代部会長の紹介のあとあいさつし、歴史のあるシルバースター部会というネットワークを通して集客に努めていくことを強調。そのためには部会の増強が喫緊の課題であるとし、各都道府県による会員拡大への協力を強く求めた。

議事では、情報通信技術(IT)利活用による業務の効率化事業（「旅館・ホテルのための生産性向上とIT活用チェックマニュアル」の作成）を柱とした令和3年度事業報



あいさつする多田会長、小野課長補佐、報告事項での江淵、永富の両氏。法務省の篠原才、レンジャーの総括を行う伊藤副部会長、佐官、総代会の総括をこなすみなさん

総代会では伊藤副部会長が「シルバースター部会は、業界の抱える問題が多く事業の範囲が拡大してきているが、これからも一つひとつ研究し、部会員に有意義な情報を届けられる努力をしていきたい」と閉会挨拶で述べた。

「医薬品のフリーキラスセットした検温消費のスタンドは使用者に大きな安心感を与えるもので、説明するフリーキラス製薬の藤田氏

告を決算報告とともに承認。また、令和4年度事業計画では「SDGsに対応した旅館ホテルの食品ロス対策」に取り組み、食品ロス対策マニュアルを今年度中に作成し、全旅連の全組合員施設に配布していくことなどを収支予算案とともに承認した。

報告事項は(1)インフォーママーケットジャパン株式会社の江淵氏が東京ビッグサイトで開催される「スパ&ウエルネスジャパン2022」(9月26～28の3日間)について説明し、9月27日(火)13:50～14:40、イベントステージBで行われる「ホテル・旅館の新戦略～経営者が考える新しい滞在型観光の姿とは」とし、国内観光や国際交流が再開されるいま、次のチャンスとして浮上してきた新・湯治をはじめとするウエルネスアプローチの課題と可能性を探るイベントについて述べ、仮題「新・湯治のコンテンツモデル、健康効果モデル調査事業」についての紹介のあと行われるディスカッションには多田会長と渡邊部会長が参加すると報告。(2)楽天グループ株式会社の永富氏は楽天トラベルのコンテンツにしている「人に優しい宿」の2021年の全体実績について述べ、シルバースター登録施設の「宿泊売上」累計は、「2019年比▲10.4%で健闘」、また、クーポン特別施策の実績は「累計約2億円の業績により需要喚起に大きく寄与」と報告。需要喚起の支援は今後も行うとしている。(関連記事7頁)(3)令和4年度事業計画の中で「食品ロス」の冊子作成を担当する株式会

食品ロスを減らすために旅館・ホテルにできること 食品ロス問題ジャーナリストが講演



講演する井出氏

シルバースター部会総代会では議事に続き、研修会を開き、食品ロス問題ジャーナリストで、株式会社office 3.11代表の井出留美氏が「食品ロスを減らすために旅館・ホテルにできること」をテーマにし、「食品ロスの基礎知識」「食品ロスは世界的な問題」「食品ロス削減の事例」の3部構成で講演した。

基礎知識では「食品ロス」とは、「まだ食べることができるのに廃棄される食品のこと」とした。これはまた、生産・貯蔵・加工・食品製造・流通の過程で発生する食品の廃棄である「フードロス」と、小売・外食・家庭から発生する食品の廃棄である「食品廃棄物」に分かれるとし、「1世帯が1年間に捨てている食品を金額にすると約6万円」「日本では年間193万トンの野菜が捨てられている」「家庭の食品ロスは『料理の量が多すぎるから』」「日本の食品ロス(522万トン)は世界の食料援助量の1.2倍」「ごみ処理に2兆1,290億円」「『廃棄物の発生抑制』が優先、次が『再使用』、そして『再資源化』の順」「2019年5月24日に食品ロス削減推進法成立」「日本の食品ロス量推移とSDGs12.3削減目標」などについて解説。

続いて「食品ロスは世界的な問題」では、「食品ロスは世界3位の温室効果ガス排出源となっており、また、食品ロスから出る温室効果ガスは自動車に匹敵するほどの量となっている。そのため、地球温

暖化を『逆転』させるための100の実現可能な具体的な解決策(人類全体の課題・行動計画)は、二酸化炭素の削減量、費用対効果、実現可能性などによってランクづけされているが、『食品ロスの削減』は3位となっている」と述べた。

こうして「食品ロス」はいかに全世界で極めて重要な問題となっているかを伝え、第3部の「食品ロス削減の事例」では、国が進める「外食で食べ残した料理は持ち帰ろう」運動、生ゴミを農家に提供し、育った農産物をホテルが買い取るという事例、食べ残した料理は持ち帰ってもらう、また、数々のビジネスと社会貢献を合体させているといった例など、多くの事例を示した。

このあと、井出氏は「旅館ホテルにできること」については、「お客の獲得にと意気をはせ、また、他店より1品でも多くと考えると、その結果は食べきれないほどの量になってしまうもの。それは食品ロスに大きくつながる」と指摘し、「適度の量にしてほしい」と述べたほか、「宴会の食べ残しを残す運動のことを『3010運動』というが、これは、最初の30分と最後の10分間は席について食べましょうということ。また、ビュッフェでは、『一度にたくさん取り分けずに、何度でも取りに来てください。』と記した案内をテーブルなどに置いている例もある。これは『ナッジの手法』というもので、これには英語、中国語などを添えている。また、星野系ホテルでは、1テーブル・1シェフ制をとり、披露宴の客に好みの量を確認している。食品ロスは厨房で残った料理を計るだけで減らせることができたという、見える化して事に当たった事例もある」と述べた。

井出氏には「食べものは命。命を無駄にしない世の中に。」としたシリーズで、「捨てられるたべものたち」「食べものが足りない!」など多くの著書がある。講演の内容に近いものは「捨てないパン屋の挑戦」となっている。

社オレンジページの森氏が冊子制作での実施体制や今後のスケジュールについて報告。(4)旅館業法の改正が近く示される中、総代会では法務省人権擁護局人権啓発課の篠原智仁補佐官が宿泊拒否の適法性について解説し、「主な人権課題」等についてはハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見・差別のほか新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別についても説明し、感染者・医療関係者・その家族等に対する不当な差別や偏見などの問題が発生していると述べ、それらは①医療従事者やエッセンシャルワーカーとその家族へのもの②感染者とその家族へのもの③思い込み、過剰な反応によるもの。そして④新

型コロナワクチンの接種を受けていない人への差別や偏見であるとし、法務省は「不安を差別につなげちゃいけない。」人権啓発キャンペーンを展開中であると述べた。(5)株式会社フリーキラ製薬の藤田氏が厚生労働省承認の国内初となる医薬品である「フリーキラS」(微弱酸性次亜塩素酸水)の、新型コロナ、レジオネラ菌、ノロウイルスに対する殺菌・消毒における高い効力(不活化に対する有効認証を獲得)について説明。また、フリーキラSをセットした「検温消毒」のスタンドについて述べ、「これは医薬品の使用ということで、利用客には大きな安心感を与えるものとなっている」と報告(全旅連に対しては特別価格を設定)した。

R3・4年度「第4回JKK定例会議」開催 「補助金」「生き延びていくヒント」で講演

1部で宿泊業等における補助金への取組み方伝授
2部で「食」で新しい地方創再生のかたちをと教示



定例会議では2つの講演(写真)のほか、各委員会の報告などが行われた



講演会であいさつする小林JKK会長の亀岡氏(左)と第一部の佐藤氏



女性経営者の会(小林佳子会長)は7月5日、京都府・京都市の「エースホテル京都」で令和3・4年度第4回定例会議を開き、全旅連青年部政策委員会副委員長の亀岡勇紀氏とレストランやホテルなどを全国展開する株式会社バルニバービ代表取締役会長CEO兼CCOの佐藤裕久氏による2つの講演会を開いた。

亀岡氏の講演テーマは「宿泊・観光業における補助事業の活用例と今後の取組み方」。補助金は「営業利益」とみなせるもので、売上高が大幅に増えたのと同じ効果、また補助金は返済不要の資金。Ex)設備投資をして計画通りの売上が上がらなくても、ダメージが小さいといった事業リスクの低減が図れる。しかし、補助金を確保するための申請書類作成、経理処理・書類整理が必要ということで、事務処理の増大、また、通常5年間、補助事業実施状況の書類報告が必要といった事業終了後の報告、さらには、募集時期が決められている補助金は自社の事業計画と合わないと思えないという補助金募集時期が限定されているものがあるとした補助金を使うデメリットの面を述べたあと、観光庁のバリアフリー補助金について説明した。また、補助金の取組み方については、「社長または決議権限を持つ人が担当することが大事、自社だけで取組む場合は補助金担当の社員を配置すること。しかし、できない理由を探したり、否定から入る発想の人は担当者には適さない」とした上で、「補助金は『発想力』であり、『作文力』だ」と説いた。このほか補助金は申請代行・コンサルと一緒に取組む場合といった補助金の取組み方、また、補助金についての新着情報の掴み方、さらには、『これからの補助金は電子申請が基本になる』といった新情報などについて説明し、最後に「なにかありましたら、青年部の政策委員会のメンバー、もしくは亀岡まで連絡いただければ幸いです」と述べた。

佐藤氏は「これからの宿泊業・観光業界が生き延

びていくヒント」をテーマとし、はじめに「これまでの地方創再生はそれぞれの地域に根ざし、本質をえぐったものであるのだろうか」と述べ、まず、地方に潜む3つの『屈』について次のように語った。

◇1つ目の屈は『退屈』。夜が暗く、むしろ怖い。気の利いたカフェやレストラン・バーがない。しかしそれはその地方、地域でしかない食材をふんだんに使った本物のグルメを唸らせるレストランやバー、そして環境を存分に活用したカフェ等があれば退屈さは解消される。2つ目は『卑屈』。東京(大都会)にあるのに、おらが街にはない。ないもの探しをし始めるということ。その街の歴史、風土、農業、水産業、竹林業、畜産業、酪農業などの食にまつわる関連生産者でしか生み出し得ない何ものかがきっとそこにあるはずだ。都会から見ればむしろ憧れとなるコンテンツが山ほどあることに気づけば、もしくは外部の方から気づかされればその卑屈さは無用なものとなるだろう。3つ目は『窮屈』。古い因習や私怨、血縁関係に縛られた監視状態にあるかと思わせる硬直した人間関係。その街に人が住みたいという動機を見つめることが出来なくなっている例がある。これでは流入する人はなく旧来からの住民のみで縛られて閉鎖コミュニティは時と共に更に窮屈な状態になっていくものであり、未来ある若者や志ある壮年がそこに窮屈さを感じるのは当然と言える。これは、多様性のある人々の流入により覆すことが可能になる。

◇この3つの屈は『食』で突き破ることができる。『食から始まる地方創再生』ということ。地域住民がその街・エリアに行きたい店を創りだせる。その地域の特産物を使用した上質な料理により、『その街にしかないもの』で地域の方々が誇れる店を創りだせる。そして、エリアが活性化する事により、交流が生まれ、新たなコミュニティの形成となる。

佐藤氏は、「地域・地方の活性化とは、『そこに住みたくなる』ということである」と述べ、新しい地方創再生のかたちとなっている淡路島西海岸郡家エリアをはじめ多くの出店事例を紹介した。



令和3・4年度第4回定例会議での集合写真

全旅連委員会開催

情報デジタル化推進委員会

令和3年度より発足した情報デジタル化推進室は今年度から活動を拡大し、情報デジタル化推進委員会



第1回委員会の様子

として新たにスタートをした。委員長は井上善博理事長(福岡県旅館ホテル生活衛生同業組合)が務める。

昨年度は、全旅連のデジタル化の形様について検討を重ねるとともに、組織内の情報共有効率化を目指し実証実験などを行った。今年度はそれらを踏まえ、全組合員に向けた情報発信サービスの構築と普及の調査研究を行う。

7月12日、8月5日の会議を通して、安定的で自立したサービス構築を目指すとともに、利便性・操作性の視点から広く普及したSNSビジネスツールを使いつつ、新たな収益モデルを取り込むことで低コストの運営手法の確立を目標とした。

これまでの会議を通して井上委員長は、「組合員に向けた情報発信のスピード・情報の質を高めることは急務であり、今年度9月に控える全旅連全国大会において、何らかの成果物を発表できることを目指している。」とコメントした。

経営基盤調査研究委員会

7月25日、経営基盤調査研究委員会(山本清蔵委員長)が開催された。ま



会議の様子

ずは協定商社会入会審査会が開催され1社目は(株)ピアトゥー(取扱商品:公式サイトポータル「STAY NAVI」など)。2社目はジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)(取扱商品:エレベーター保守管理など)。3社目は、(株)QFPay Japan(取扱商品:キャッシュレス決済システムなど)の面談を行った。その後、入会審査の協議を行い、3社全てを8月31日に開催される正副会長会議にて新規入会を諮ることとした。また会議では、9月13日に開催する第100回全旅連全国大会の協賛に関する報告や本年度の生衛補助金で実施する業績回復支援事業の説明が行われた。

ポストコロナ調査研究委員会

7月21日、ポストコロナ調査研究委員会(大木正治委員長)が開催された。議事に入ると観光



会議の様子

需要喚起策では、8月31日まで延長となった地域ブロックを対象とした都道府県割の効果を着実に得ながら、全国旅行支援およびGoToトラベルの早期実施により、大都市圏からの旅行が活発となることを期待したいとした。金融課題は、新型コロナ禍の資金繰りにより増大した借入の改善策に焦点を当てて要望をしていきたいとした。感染症対策は、新型コロナ感染者数が増加する中において、安心・安全な集客の対応を確認した。

全国宿泊事業者の地域の声を聴く「地域ボイス制度」には、都道府県組合毎にモニター組合員が選定されたことが報告された。今後は、定期的なアンケートを定点で収集することでポストコロナ期の変化を読み取りたいとし、またオンライン会議などを予定している。

人材不足対策・職場環境改善対策委員会

7月28日、人材不足対策・職場環境改善対策委員会(石田浩二委員長)では、今年度1回目の会議を開



会議の様子

催。桑島委員(青年部労務担当副部長)より5月に実施した「外国人材の雇用に関するアンケート調査」の結果について報告があった。全体回答数516件のうち、北海道が49件と最も回答が多く、静岡県36件、兵庫県35件と続いている。また、施設の種類では旅館が全体の58.7%を占め、従業員数も10人以上50人未満が51.0%、10人未満が24.2%となっている。このアンケートは今年度内にあと3回実施していく。続いて、令和4年度の活動計画について検討、宿泊業界は入社3年以内の離職率が高いと言われることから、職場環境改善対策に取り組んでいくこととした。

第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

選考委員会賞

なにわ一水

「1人でも多くのお客様に優しくありたい宿」

なにわ一水(島根県松江市)は2013年、「1人でも多くのお客様に優しくありたい宿」を目的に掲げ、ハード、ソフト両面から日本で1番のバリアフリー、ユニバーサルデザインの宿を目指すこととしたが、ここに来て、利用する方が実際に必要とする設備は千差万別であることを知り、様々な障がい者の視点に合わせた整備を進めている。それは、設計段階から障がい者の方の意見も取り入れて利用しやすい設備となるように心がけた。

年を追うごとに車椅子利用のお客様の数が増大していたため、ハード改修については車椅子に向けての環境改善が多かった。しかしながら視覚、聴覚障がいを持っている方の利用も増加傾向にあり、2016年に電波を利用した音声案内装置や客室一フロント間専用のFAX、筆談機を導入し、2021年には客室設備として当社初となる視覚、聴覚障がい者向けに特化したユニバーサルデザイン客室を設置した。

障がいのあるお客様の露天風呂付客室を利用してみたいという要望を実現するために客室も改修をしたほかりフト付送迎車両も用意した。普通車のリフト付車両ではグループの場合乗車定員の関係で別々の車両になってしまうため、乗車定員の大きいマイクロバス型の車両とすることで移動中も同じ空間で過ごすことができるように配慮した。

なにわ一水では「あいサポート研修」、「サービス介助士基礎研修」を全社員に実施し、障がいを持つお客様にも変わることない当社のサービスを体験してもらう体制も構築した。また、スキルアップとして「サービス介助士」「准サービス介助士」の資格取得時には助成制度も整え、ハードとソフト両面から充実できるようにした。「お客様が求める内容は日々変わっていくが、日々技術の進歩により新しい方法も生み出されており、これからも鋭意取り組んでいきたい」と意欲的だ。



▲リフト付きのマイクロバス。同じ車両で移動できるように配慮した。



◀ユニバーサルデザイン対応客室のようす

観光経済新聞社社長賞

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

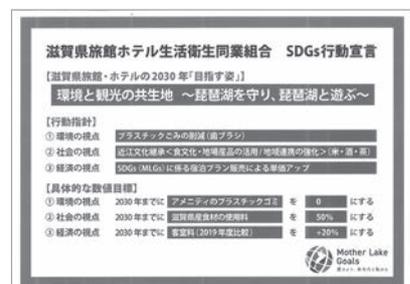
「SDG's (MLG's) 宣言」

新型コロナウイルス感染拡大により、併せて、地球温暖化の影響が顕著となり、宿泊業が今まで通りの営業が難しくなるなか、滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合は、2021年9月にSDG's推進プロジェクトを立ち上げ、観光地として「選ばれる滋賀県」になるためにSDG'sの推進に取り組んだ。

活動名は「SDG's行動宣言」。プロジェクトで設定したスローガンは、『環境と観光の共生地～琵琶湖を守り、琵琶湖と遊ぶ～』とした。訪れるお客様が滋賀・琵琶湖(取り巻く環境)での滞在が心から愉しめるところとなることを願い、長年培ってきた文化を守る仕組み作りを目指す。また、「行動指針」と「2030年に向けた具体的な数値目標」は、環境の視点では『プラスチックゴミの削減(歯ブラシ)』とし、『アメニティのプラスチックゴミを0にする』、社会の視点では『近江文化の継承(食文化・地場産品の活用/地域連携の強化)(米・酒・茶)』とし、『滋賀県産食材の使用料を50%にする』、経済の視点では『SDG'sに関わる宿泊プラン販売による単価アップ』とし、『客室料(2019年度比較)を+20%にする』に設定した。

組合では2021年を「SDG's (MLG's) 促進元年と位置付け、2030年の目標達成に向けて、私たちが今すべきことを考え、行政と共に一丸となり滋賀県全体でSDG'sの活動を促進していきます」と宣言している。

プラスチックゴミの削減、紙、ペットボトルの再資源化、朽木の森で森林セラピー、エコ清掃など環境保全につながる9項目のプラン、そして、地産地消(郷土食プラン)、滋賀の地酒の飲みくらべ、朝のお散歩会(琵琶湖の朝日や湖岸散歩)、レンタサイクル「ビワイチ」プランなど地域連携につながる12項目のプランが今、サステナブルプランとなってここかしこで展開されている。



MLG's 行動宣言



MLG's 認証式のようす



代替アメニティのサンプル

全国大会スケジュール

開催日:令和4年9月13日(火)

場 所:ホテルニューオータニ



ホテルニューオータニ「鶴の間」

〒102-8578 千代田区紀尾井町 4-1 TEL 03-3265-1111

会場(鶴の間) (edo ROOM)

● 受付開始 ————— 12:00 ~

会場(鶴の間)

● 記念式典〈オープニング時、記念VTR上映〉 — 13:00 ~ 16:30

来賓祝辞

表彰式

- ① 厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰
- ② 全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状
- ③ 全旅連会長表彰(永年勤続表彰)
- ④ 第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」表彰 など

受付・式典
・懇親会

会場(鶴の間)

● 大懇親会 ————— 18:00 ~

津軽三味線・尺八・和太鼓 演奏、日本民謡ライブ

会場(鶴の間) (edo ROOM)

展示会

● 協賛業者展示 ————— 12:00 ~ 17:30

全国大会展示会出展社一覧 (8月22日時点)

保 険・金 融:ソニー生命保険(株) (株)日本政策金融公庫
 建 物 工 事:ミサワホーム(株) 住友林業ホームテック(株) 大建工業(株) (株)サンゲツ (株)タカショー
 (株)タカショーデジテック
 カラオケ・音響:(株)第一興商
 オンライン集客:(株)リクルート 楽天グループ(株) (株)宿研 (株)クリップス
 ITシ ス テ ム:(株)かんざし (株)クリップサイト (株)JTBビジネスイノベーションズ
 新日本コンピュータサービス(株) tripra(株) 鉄道情報システム(株) 手間いらず(株) Payn(株)
 経 費 削 減:(株)ネクシィーズ 日本テクノ(株) (株)ショウエイ ジャパンエレベーターサービス(株)
 ミナモフーズ・ジャパン(株)
 設 備 機 器:(株)フジ医療器 (株)アステック (株)サイエンス SANEI(株) (一社)東京マーケティング研究所
 (株)メルシー
 衛 生 関 連:(株)フリーキラ製薬 (株)リンレイ
 備 品 関 連:(株)三洋 (株)ASK ドリームベッド(株)
 人 材:(株)ダイブ (株)ネクストビート
 メ デ ィ ア:(株)お宿ポータル
 全 旅 連 事 業:全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

全旅連会議開催

【7月】

- 12日(火)
●全旅連情報デジタル化推進委員会
- 13日(水)
●全旅連シルバースター部会常任委員会
- 令和4年度全旅連シルバースター部会総代会
於：都道府県会館(東京都千代田区)
- 21日(木)
●全旅連ポストコロナ調査研究委員会
- 25日(月)
●全旅連経営基盤調査研究委員会
- 28日(木)
●全旅連人材不足対策・職場環境改善対策委員会

【8月】

- 5日(金)
●全旅連情報デジタル化推進委員会
- 22日(月)
●全旅連情報デジタル化推進委員会
- 24日(水)
●全旅連女性経営者の会(JKK)役員会
- 31日(水)
●全旅連正副会長会議

今後の予定

- 9月13日(火)
●第100回記念 全旅連全国大会
於：ホテルニューオータニ(東京都千代田区)
- 9月26日(月)・27日(火)・28日(水)
●第14回スパ&ウエルネス ジャパン2022(全旅連協賛)
主 催：インフォーママーケットジャパン株式会社
於：東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区)
- セミナー〈9月27日(火)〉
テーマ：「ホテル・旅館の新戦略～経営者が考える新しい
滞在型観光の姿とは」
：多田全旅連会長、渡邊シルバースター部会長が
出演予定

全旅連シルバースター部会 楽天トラベル内「人に優しい宿」 集客支援の取組みについて

全旅連シルバースター部会(渡邊幾雄部会長)では、昨今著しい伸びを示すネット予約への取組み策として、「楽天トラベル」内に構築した『人に優しい宿』において、シルバースター登録施設の販売機会の増加を図っています。

昨年度に続き、楽天グループ株式会社の協力により、8月～12月の需要の取りこみ促進のために、8月22日から9月20日の約1か月間、楽天トラベルトップの露出および、楽天負担による「人に優しい宿」対象施設限定クーポン特集(1,000円割引クーポン付)を実施しますので、この機会をご活用ください。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「作法」

酷暑の食事と言えばやはり鰻。鰻と言えば「おこうこぐらいで酒飲んでね、焼き上がりをゆっくりと待つのが旨いわけですよ」と書いた池波正太郎さんを思い出す。1981年、著者が50代後半のころ由布院の名旅館で著された「男の作法」は緩い時間のおともに最適だ。この本の「はじめ」には、「男」というものが、どのように生きてゆくかという問題は、結局、その人が生きている時代そのものと切ってもきれないかわりを持っています。この本の中で私が語っていることは、かつては『男の常識』とされていたことばかりです。しかし、それは所詮、私の時代の常識であり、現代(いま)の男たちにはおそらく実行不可能でありましょう。時代と社会がそれほど変わってしまったということですからとある。大学生のころに初めて触れた後何度も「お前は大丈夫か」と問いつづけるのも事実だ。

その内容には「鮎屋へ行ったときはシャリだなんて言わないで普通にゴハンと言えればいいんですよ」「男の顔をいい顔に変えていくということが男をみがくことなんだよ。よほど積極的な姿勢で自分をみがかないと、みんな同じ顔になっちゃうね」「そばのつゆにしても、つゆが薄い場合はどっぶりつけていいんだよ」「唐辛子をかけたかったら、そばそのものの上に、食べる前に少しずつ振っておくんだよ。唐辛子の香りなんか消えちゃうじゃないか」「サービス料がある場合はチップはいらぬというのは、これは理屈です。だけどね、かたちにさなきゃわからないんだよ、気持ちというもの」とある。

店構えについても「たべもの屋というのは、まあどんな店でもそうだけど、店構えを見ればだいたいわかっちゃう。中へ入った場合、まず便所がきれいな店じゃなかったら駄目だね。宿屋でもそうですよね」と当たり前に厳しい。

作法を身に着け、違う顔をした「人」になりたいものです。

質問・相談は

sero-1117@giga.ocn.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。年々、高齢者人口が増加し、高齢者の宿泊施設へのニーズが高まることは当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで全国の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。

◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: http://www.yadonet.ne.jp/

全旅連協定商社会名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039	
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213	
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 マーケット開発部 市場開発室 谷 賢治	TEL 03-5789-6354 FAX 03-5789-6449	
	(株) 丸八真綿	丸八真綿寝具販売他	〒465-0045 愛知県名古屋市長東区姫若町25 第一営業部 玉木信安	TEL 052-701-3386 FAX 052-703-1424	
	(株) リクルート	旅行雑誌じゃらん、じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784	
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0013 静岡県伊東市桜木町2-2-19 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557	
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部 法人推進課 五十嵐忠勝	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668	
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862	
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル5階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996	
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST9階 航空宇宙・旅行産業部 旅行営業室 副主任 田中早映子	TEL 03-6250-6022	
	AIG 損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F ディストリビューション部門 大平美菜子	TEL 03-6848-8835 FAX 03-6689-2025	
	楽天グループ(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 ホテル旅館コンサルティング部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253	
	(株) 宿研	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 新規営業本部 営業推進室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507	
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システムTL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898	
	(株) JTB(るるぶトラベル)	宿泊予約サイトるるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル7階 国内仕入戦略部 松村高太郎	TEL 03-5796-5816 FAX 03-5796-5254	
	ヤフー(株)	「Yahoo!トラベル」による集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー トラベル統括本部 営業部 小林孝志	TEL 03-6898-2393 FAX 03-6685-0800	
	(株) ネクシィーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調などの省エネ商材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル 業務本部 営業企画課 佐々木 龍	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307	
	(株) Trip.com International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル9階 ホテル事業部 翟 峰(サイ ホウ)	TEL 03-6373-0811 FAX 03-6262-7667	
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 課長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379	
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971	
	住友林業(株)	旅館・ホテルリフォーム新築、造園	〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 杉本貴一	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
	(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力・都市ガス営業部 課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
	(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」 OTA「ちこみ」一括管理「ちこみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル 3F セールス本部 宿泊セールsteam チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448	
	(株) 三洋	寝具(掛け布団・マットレス)のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-10 ORIX恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340	
	(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置と省エネシステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602	
	大建工業(株)	機械すきと紙材の畳	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 畳材部 得永昭弘	TEL 03-6271-7791 FAX 03-5296-4064	
	HRソリューションズ(株)	求人情報掲載サイト「旅館ホテルでおしごと.net」	〒103-0023 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング10F 顧客価値創造本部 カスタマーサクセス推進部 桜庭悠斗	TEL 03-3548-8212 FAX 03-3548-8864	
	(株) ダイブ	旅館・ホテル向け人材サービス「リゾートバイトダイブ」	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-8-1 新宿セブンビル10F リゾート人材サービス 東日本エリア マネージャー 馬場真悟	TEL 03-5657-3030 FAX 03-5657-3031	
	(株) クリップス	Web予約サイトコントローラー「わっばん++」 Web販売支援サービス	〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡石2-29-15 ピュアコートベル3F WEBサポート事業部 金子 悟	TEL 025-290-5540 FAX 025-241-7836	
	(株) ヤギ	空間除菌消臭エアマット、オーガニック繊維によるタオル等	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-15 マテリアル事業本部 第三事業部 311課 販売課長 上村 秀	TEL 03-3667-4410 FAX 03-3667-4471	
	(株) ASK	スカパー!法人向有料放送契約およびIPによる外国語放送の契約	〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-8-5 NXビル4F 営業部 主任 成田篤志	TEL 042-523-4649 FAX 050-3728-5505	
	推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベーター設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 正村宗一郎	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
		(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-7-10 アーバンネット五反田ビル1F 営業本部 法人営業部 法人営業ユニット 鈴木哲治	TEL 03-5719-2017 FAX 03-5719-6859
(株) エス・ワイ・エス		自社HP予約エンジン「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第二丸耀ビル3F 吉野直樹	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071	